

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	木造構法小委員会		主 査 名：榑藤 智之 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (設計計画・構法計画運営委員会)		委員長名：清家 剛 主 査 名：小見 康夫
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2024 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>日本における木造建築は、過去から現在につながる歴史性はいまでもなく、現在では持続可能な社会を支えるエコロジカルな建築として再認識されており、今後の社会基盤を構成する重要な要素となっている。</p> <p>本委員会では、このような木造建築を多角的に捉えて、在来木造、民家、中大規模木造を含めた総体の現状認識を行い、今後の方向性を見出してゆく。</p> <p>初年度：(1) 海外の木質構法の普及状況・その背景、(2) 戦後の木質構法の変遷、(3) 民家・小屋および近代木造建築を対象とした近年の構法研究、の 3 点について情報収集や研究会を実施する。</p> <p>2 年度：上記 (1) ～ (3) について、研究集会等を行い、対外的に情報を発信する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：榑藤智之 (東京大学) 幹事：山畑信博 (東北芸術工科大学)、金子晋也 (札幌市立大学) 委員：青島啓太 (追手門学院大学)、大橋好光 (東京都市大学)、釜床美也子 (香川大学)、金善旭 (八戸高専)、後藤治 (工学院大学)、小見山陽介 (京都大学)、杉本健一 (森林総合研究所)、樋口貴彦 (東洋大学)、堀江亨 (日本大学)、松本直之 (東京大学)、山田宮土理 (早稲田大学)、渡邊史郎 (建築研究所)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2022 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	4 月 25 日 (濱定史)、7 月 25 日 (海野聡)、11 月 2 日 (松本直之) の 3 回、若手研究者からの話題提供を実施した。木造構法の地域性、木材流通の変遷や戦後の木質構法など多様な話題を扱った。
委員会活動の問題点 ・課題	海外の木質構法に関する研究活動について、活動内容の検討にとどまっている。